

IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

■第55回IATSSフォーラム修了
■IATSS Research Vol. 40,
Issue 1発行

第55回IATSSフォーラム修了

IATSSフォーラムは、1985年より東南アジア9カ国（カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）から研修生を招き、次世代若手リーダー育成のための研修を行っています。

修了生達（54回までの累計：941名）は、政府機関、大学、企業、NPO等で活躍すると共に、各国、地域の課題に対応すべくボランティア活動にも積極的に参加しています。

第55回は2016年5月22日から、9カ国18名が参加、途中日本人も1名加わり始まりました。

鈴鹿を拠点に、鳥羽、神戸、京都、東京を訪問し、政治、環境、交通他のセミナー、視察、国際交流、ケーススタディ等、55日間の研修を行い7月9日に無事修了式を迎える事ができました。

IATSS吉見顧問の講話では、研修生に「リーダー像」の指針を与え、またIATSSの活動の理解を深めるため、鎌田専務理事、長谷川常務理事より活動概要と研究プロジェクトの紹介を行いました。

研修テーマは「持続可能な地域・社会づくり」を設定し、研修生自身が地域・社会をより良くするために住民・企業・行政がどのように連携すべきか「共に考え、共に学ぶ」共創の場を提供しました。

- (1) 研修生自身の地域の問題・課題を事前整理
- (2) 専門の先生方からの講義「日本を含めた諸外国の取り組み」
- (3) 地域・社会づくりの主体形成に必要なプロセスワークショップ

- (4) フィールドスタディで現場現実の体験（鳥羽、神戸、京都、東京）
- (5) グループ研究と研究発表（自国での活動含む）

文化的背景・専門分野の異なる研修生たちは積極的に知識を共有し、切磋琢磨し合い真剣に研修に取り組んできました。

研究期間中に培われた知識・体験・人との絆を活かし将来を担うヤングリーダーとして、更に成長しグローバルに活躍してくれる事を期待しています。



▲第55回IATSSフォーラム修了式

IATSS Research Vol. 40, Issue 1 発行

IATSS Research Vol. 40, Issue 1が発行されました。Elsevier Ltd.のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

▶<http://www.sciencedirect.com/science/journal/03861112/40/1>

<General Topics>

Sirkku Laapotti

“Comparison of fatal motor vehicle accidents at passive and active railway level crossings in Finland”

Gopal R. Patil, Jayant P. Sangole

“Behavior of two-wheelers at limited priority uncontrolled T-intersections”

Anton Oleinik

“Corruption on the road: A case study of Russian traffic police”

Sariya Srichuae, Vilas Nitivattananon, Ranjith Perera

“Aging society in Bangkok and the factors affecting mobility of elderly in urban public spaces and transportation facilities”

Shy Bassan

“Overview of traffic safety aspects and design in road tunnels”

Hasina lasmin, Aya Kojima, Hisashi Kubota

“Safety effectiveness of pavement design treatment at intersections: Left turning vehicles and pedestrians on crosswalks”

Shaurya Agarwal, Pushkin Kachroo, Emma Regentova

“A hybrid model using logistic regression and wavelet transformation to detect traffic incidents”